YAMAHA News Release ヤマハ株式会社

2013 年 4 月 24 日

SOHO 向けルーターシェア 1 位※1 のヤマハのセンターVPN ルーター

大規模多地点ネットワーク構築のためのセンターVPN ルーター

ヤマハ ギガアクセス VPN ルーター『RTX5000』

中小規模多地点ネットワーク構築のためのセンターVPN ルーター

ヤマハ ギガアクセス VPN ルーター『RTX3500』

－ 2013 年 7 月上旬発売 －

ヤマハ株式会社(本社:静岡県浜松市中区中沢町 10-1、社長:梅村 充)は、多地点ネットワーク構築のためのセンターVPN ルーターとして、大規模向けのギガアクセス VPN ルーター『RTX5000』と中小規模向けのギガアクセス VPN ルーター『RTX3500』を 2013 年 7 月上旬から発売します。

＜価格と発売日＞

■本体

品 名	品番	希望小売価格(税込)	発売日
ギガアクセス VPN ルーター	RTX5000	837,900 円 (本体価格 798,000 円)	2013 年 7 月上旬
ギガアクセス VPN ルーター	RTX3500	522,900 円 (本体価格 498,000 円)	2013 年 7 月上旬

初年度販売計画台数:2,000 台 (RTX5000 と RTX3500 の合計)

■オプション(別売)

品 名	品番	希望小売価格(税込)	発売日
PRI モジュール (RTX5000・RTX3500 用)	YBC-1PRI-M	157,500 円 (本体価格 150,000 円)	2013 年 7 月上旬
BRI モジュール (RTX5000・RTX3500 用)	YBC-4BRI-ST	105,000 円 (本体価格 100,000 円)	2013 年 7 月上旬

＜企画意図＞

企業のネットワーク活用は日々進化しており、高速化、大容量化、信頼性強化などが求められています。2005 年に発売したイーサアクセス VPN ルーターRTX3000 は、スループットやコストパフォーマンスの高さが評価され、中小規模ネットワーク構築のセンターVPN ルーターとして好評をいただいております。このたび、ネットワークの大規模化、インターネット回線速度の向上、ISDN マイグレーション(※2)などの通信環境の変化、拠点用ルーターの性能向上に見合うセンターVPN ルーターとして、性能向上および機能強化などの要望に応えるためセンターVPN ルーターのラインアップを刷新いたしました。

今回の新製品『RTX5000』と『RTX3500』は、多地点ネットワーク構築ソリューション拡張の鍵となるセンターVPN ルーターとしての基本性能が大幅に向上し、『RTX5000』は RTX3000 の 3 倍となる最大 3,000 地点と、『RTX3500』では RTX3000 と同等の最大 1,000 地点と安全に接続できる能力を備えています。また、データセンターなどの設置環境への対応や ISDN マイグレーション(※2)への備えに配慮しています。これからもヤマハは、継続して多地点ネットワーク構築ソリューションを強化してまいります。

＜製品概要＞

ネットワーク規模に応じて『RTX5000』と『RTX3500』の 2 種類のセンターVPN ルーターを用意しました。『RTX5000』は、RTX3000 を超える大規模多地点ネットワーク構築に最適なセンターVPN ルーターとして、VPN 接続対地数(最大 3,000)、スループット(最大 4Gbit/s)、VPN スループット(最大 2Gbit/s)や経路情報処理能力などの基本性能の大幅な向上により、大規模提案に柔軟な対応が可能です。『RTX3500』は、RTX3000 と同等(最大 1,000 対地)の中小規模多地点ネットワーク構築に最適なセンターVPN ルーターとして、RTX3000 からスムーズな移行が可能です。また、『RTX5000』と『RTX3500』は、データセンターやコンピュータールームなど設置環境の省スペースや省エネルギーに配慮しました。省スペース性に配慮したラック 1U サイズのコンパクト筐体、データセンターの省エネルギー化を想定した電源入力の AC100V～AC240V 対応、さらに LAN 機器との接続性を高めるリンクアグリゲーション機能を搭載した 2 系統の L2 スイッチングハブを内蔵しています。

RTX3000 は、本体にオプションの拡張モジュールを利用して、ISDN バックアップソリューションやメンテナンスに幅広くご利用いただいております。『RTX5000』と『RTX3500』では、2020～2025 年に予定されている PSTN(ISDN)から IP ネットワークへのマイグレーションに備え、オプションの新しい拡張モジュールによる ISDN 回線収容と、ISDN のデータ通信を代替できる「ひかり電話ナンバーゲート」および「データコネクト」対応で、計画的な移行を可能にしています。

＜主な特長＞

1．企業ネットワークの大規模化に対応したセンターVPN ルーターのラインアップ
2．ギガ時代のハイパフォーマンス
3．データセンターなどの設置環境の変化を踏まえ「省スペース」と「省エネルギー」に配慮
4．2020 年から始まる ISDN マイグレーション(※2)への備え
5．実績に裏打ちされたヤマハルーターの最新機能の搭載

1．企業ネットワークの大規模化に対応したセンターVPN ルーターのラインアップ

従来の中小規模ネットワークから大規模ネットワークまで、ネットワーク規模に応じて『RTX5000』と『RTX3500』の2種類のセンターVPNルーターを選択できるようにしました。『RTX5000』のVPN対地数を3,000に向上し、大規模ネットワークに対応可能になりました。『RTX3500』のVPN対地数は、RTX3000と同等の1,000を維持しており、中小規模ネットワークにおいて、RTX3000からスムーズに移行して、スループットの向上が可能です。

2．ギガ時代のハイパフォーマンス

『RTX5000』と『RTX3500』は、マルチコア CPU を採用して、計 10 ポートのギガビットイーサネット(1000BASE-T)に相応しい性能向上を図りました。実績を積み重ねてきたルーターOS は、マルチコア CPU 向けに最適化して高スループットを実現。最大スループットは、『RTX5000』と『RTX3500』で最大 4Gbit/s。最大 VPN スループットは、『RTX5000』で最大 2Gbit/s、『RTX3500』で最大 1.5Gbit/s を実現しています。

３． データセンターなどの設置環境の変化を踏まえ「省スペース」と「省エネルギー」に配慮

省スペースへの配慮として、19インチラックの1Uサイズの筐体でありながら、リンクアグリゲーション機能に対応した4ポートL2スイッチングハブを2系統搭載し、冗長構成を組みやすくしました。また、省エネルギーへの配慮として、AC200V(*)の電源入力に対応(**)した高効率電源を自社設計しました。

*: 電源電圧を高くすることで装置に流入する電流が減り、ブレーカーなどの周辺設備の削減も可能になり、電力ロスの削減が期待できるので、AC200V 電源を採用するケースが増えています。

**: 付属の電源コードは、AC100V 専用です。
AC200V 電源で運用される場合には、別途 PDU(配電ユニット)用電源コードのご用意が必要となります。

４． 2020 年から始まる ISDN マイグレーション(※2)への備え

『RTX5000』と『RTX3500』のISDNマイグレーションへの備えは、オプションの新しい拡張モジュールによるISDN回線収容と、ISDNのデータ通信を代替できる「ひかり電話ナンバーゲート」および「データコネクト」対応です。これにより、計画的な移行が可能です。

『RTX5000』と『RTX3500』では、ビジネス用途に根強い人気のあるISDN回線の接続機能を安定して継続提供するために、拡張スロットとISDN拡張モジュールを新規設計しました。本体には新しいISDN拡張モジュールを装着するスロットを2基装備し、オプションのPRIモジュール『YBC-1PRI-M』の1台、または、BRIモジュール『YBC-4BRI-ST』の1台～2台のいずれかを装着することが可能です。

「データコネクト」および「ひかり電話ナンバーゲート」は、フレッツ光ネクスト回線の「ひかり電話」を利用した帯域確保型データ通信サービスです。『RTX5000』と『RTX3500』では、SIP同時接続数として最大200チャネル（200回線分）が利用可能です。

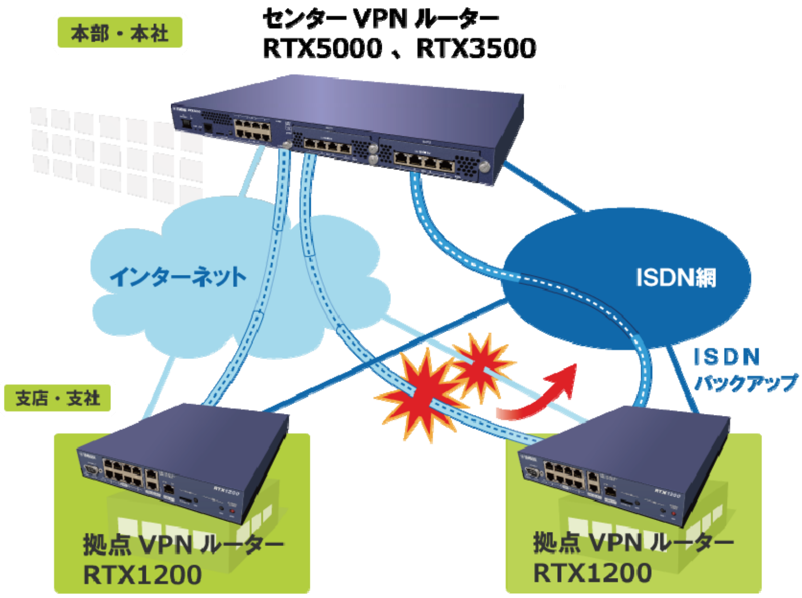
５． 実績に裏打ちされたヤマハルーターの最新機能の搭載

拠点VPNルーター(RTX1200やRTX810など)で実現し、ご好評いただいている最新の定番機能をセンターVPNルーターにも搭載し、運用や管理のしやすさを向上しました。microSDスロットに外部メモリとしてmicroSDメモリを装着し、ファームウェア、設定、ログを記録することができます。Luaスクリプト機能では、標準機能で実現できていない制御や監視をカスタマイズすることができます。パワーオフログ保存機能やリブートログ保存機能では、予期せぬ障害が発生した際に電源を切って再起動を行った場合でも、障害発生前のログを確認することができ、障害原因の特定がしやすくなります。

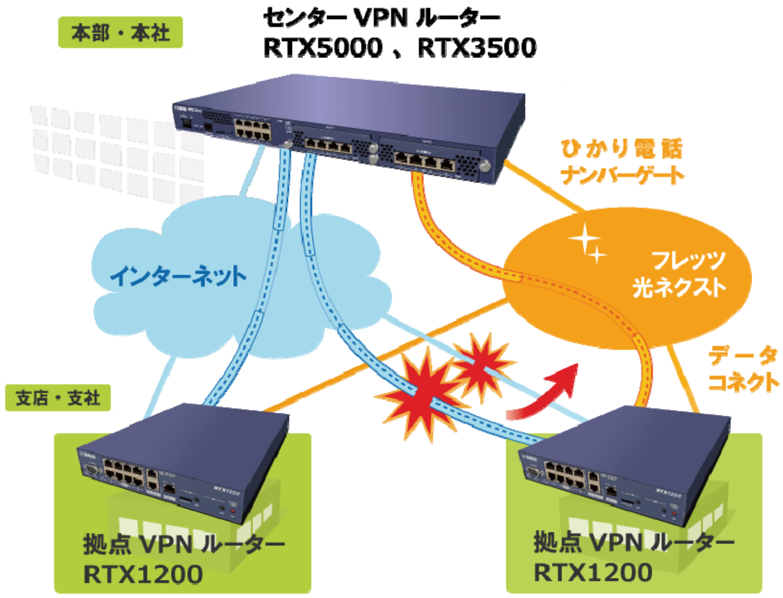
※『RTX5000』と『RTX3500』は、2013年6月12日（水）～14日（金）に幕張メッセで行われる「Interop Tokyo 2013」(http://www.interop.jp/2013/)に展示します。
詳しい情報は、弊社ホームページ(http://jp.yamaha.com/products/network/)に掲載する予定です。

＜主な利用イメージ＞

(1) インターネットVPNを構築し、障害が発生したときにISDN回線を用いてバックアップする。



(2) インターネットVPNを構築し、障害が発生したときに「データコネクト」を用いてバックアップする。



＜主な仕様＞

赤字部分は **RTX3000** との差分仕様です。

	RTX5000	RTX3500
希望小売価格(税込)	837,900 円（本体価格:798,000 円）	522,900 円（本体価格:498,000 円）
JAN コード	49 57812 54264 7	49 57812 54263 0
対応回線およびサービス網(※3)	FTTH（光ファイバー）,ADSL,CATV,ISDN（BRI、PRI）,高速デジタル専用線（64kbit/s～1.5Mbit/s）,ATM 回線,IP‐VPN 網,広域イーサネット網,フレッツ・サービス,IPv6 PPPoE/IPoE(フレッツ光ネクスト回線),データコネクト(フレッツ光ネクスト回線),ひかり電話ナンバーゲート(フレッツ光ネクスト回線)	FTTH（光ファイバー）,ADSL,CATV,ISDN（BRI、PRI）,高速デジタル専用線（64kbit/s～1.5Mbit/s）,ATM 回線,IP‐VPN 網,広域イーサネット網,フレッツ・サービス,IPv6 PPPoE/IPoE(フレッツ光ネクスト回線),データコネクト(フレッツ光ネクスト回線),ひかり電話ナンバーゲート(フレッツ光ネクスト回線)
LAN ポート	4 ポート（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、ストレート/クロス自動判別）,LAN1/LAN2 は 4 ポート L2 スイッチ	4 ポート（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、ストレート/クロス自動判別）,LAN1/LAN2 は 4 ポート L2 スイッチ
内蔵 L2 スイッチ機能	ポート分離,LAN 分割(ポートベース VLAN),ポートミラーリング,Link aggregation	ポート分離,LAN 分割(ポートベース VLAN),ポートミラーリング,Link aggregation
WAN ポート	任意の LAN ポートを利用可能,拡張モジュール搭載時 ISDN 回線利用可能	任意の LAN ポートを利用可能,拡張モジュール搭載時 ISDN 回線利用可能
ISDN U ポート	-	-
ISDN S/T ポート	拡張モジュールにより対応（4 ポート/8 ポート）	拡張モジュールにより対応（4 ポート/8 ポート）
PRI ポート	拡張モジュールにより対応（1 ポート）	拡張モジュールにより対応（1 ポート）
microSD スロット	1 ポート(SDHC 対応)	1 ポート(SDHC 対応)
USB ポート	-	-
コンソールポート（設定用）	1 ポート（RJ-45、RS-232C）	1 ポート（RJ-45、RS-232C）
拡張スロット	2 スロット（※4）	2 スロット（※4）
Flash ROM	128MB（ファームウェア：2 組、コンフィグ：5 組/履歴機能あり）	128MB（ファームウェア：2 組、コンフィグ：5 組/履歴機能あり）
RAM	1GB	1GB
状態表示ランプ	前面：23（POWER、ALARM、microSD、LINK/DATA(各 1×10port)、SPEED(各 1×10port)),背面：0(-)	前面：23（POWER、ALARM、microSD、LINK/DATA(各 1×10port)、SPEED(各 1×10port)),背面：0(-)
動作環境条件	周囲温度 0～40℃,周囲湿度 15～80%(結露しないこと)	周囲温度 0～40℃,周囲湿度 15～80%(結露しないこと)
電源	AC100～240V（50/60Hz）,電源内蔵,電源インレット(3 極コネクター、C13 タイプ),電源スイッチ	AC100～240V（50/60Hz）,電源内蔵,電源インレット(3 極コネクター、C13 タイプ),電源スイッチ
最大消費電力(皮相電力)、最大消費電流、発熱量	38W(39VA),0.39A,137kJ/h	37W(38VA),0.38A,133kJ/h
省エネ機能	未使用 LAN ポートのシャットダウン, microSD スロット停止	未使用 LAN ポートのシャットダウン, microSD スロット停止
筐体内温度測定	温度計内蔵（コマンドで確認、SNMP による取得、閾値設定による SNMP トラップ）	温度計内蔵（コマンドで確認、SNMP による取得、閾値設定による SNMP トラップ）
筐体	金属筐体,冷却ファン：2 基	金属筐体,冷却ファン：2 基
電波障害規格、環境負荷物質管理	VCCI クラス A,RoHS 対応	VCCI クラス A,RoHS 対応
外形寸法	445(W)×44(H)×400(D)mm（突起、端子類は含まず）	445(W)×44(H)×400(D)mm（突起、端子類は含まず）
質量(付属品含まず)	4.7kg	4.7kg
付属品	LAN ケーブル(1 本：3m),RJ-45/DB-9 シリアルケーブル（1 本:1.5m）,AC100V 専用電源コード(3 極プラグ),電源コード抜け防止金具,取扱説明書(保証書を含む),CD-ROM(1 枚：取扱説明書・コマンドリファレンス・設定例集、［ソフトウェア］RT-FileGuard(※5)),19 インチラック取付金具,金具取付用ねじ（10 個）	LAN ケーブル(1 本：3m),RJ-45/DB-9 シリアルケーブル（1 本:1.5m）,AC100V 専用電源コード(3 極プラグ),電源コード抜け防止金具,取扱説明書(保証書を含む),CD-ROM(1 枚:取扱説明書・コマンドリファレンス・設定例集、［ソフトウェア］RT-FileGuard(※5)),19 インチラック取付金具,金具取付用ねじ（10 個）
スループット（※6）	最大 4.0Gbit/s	最大 4.0Gbit/s
IPsec スループット	最大 2.0Gbit/s	最大 1.5Gbit/s
IPv6 接続形式	ネイティブ,トンネル,デュアルスタック,RA プロキシ,DHCPv6-PD,IPv6 PPPoE	ネイティブ,トンネル,デュアルスタック,RA プロキシ,DHCPv6-PD,IPv6 PPPoE
ルーティング対象プロトコル	IP,IPv6	IP,IPv6
IP ルーティングプロトコル	RIP,RIP2,OSPF,BGP4(EBGP、IBGP)	RIP,RIP2,OSPF,BGP4(EBGP、IBGP)
IPv6 ルーティング	RIPng,OSPFv3	RIPng,OSPFv3

プロトコル		
経路エントリー数	最大 60,000	最大 60,000
OSPF ネイバー数とその経路	60 ネイバーの時: 経路数 15,000	60 ネイバーの時: 経路数 12,000
BGP4 経路数	最大 60,000	最大 60,000
WAN プロトコル	PPP ,PPPoE ,MP(i)	PPP ,PPPoE ,MP(i)
PPPoE セッション数	40	40
SIP 同時接続数	200 (データコネクト、ひかり電話ナンバーゲート)	200 (データコネクト、ひかり電話ナンバーゲート)
認証機能	RADIUS ,PAP/CHAP ,ISDN 識別着信 (i)	RADIUS ,PAP/CHAP ,ISDN 識別着信 (i)
管理プロトコル	SNMP(v1,v2c,v3)	SNMP(v1,v2c,v3)
統計・管理機能	-	-
プログラム管理	コンフィグ多重(履歴機能) ,TFTP/SFTP/SCP によるアップデート,外部メモリ(microSD)からのリビジョンアップ, 外部メモリ(microSD)に保存されたファームウェア・コンフィグの優先起動	コンフィグ多重(履歴機能) ,TFTP/SFTP/SCP によるアップデート,外部メモリ(microSD)からのリビジョンアップ, 外部メモリ(microSD)に保存されたファームウェア・コンフィグの優先起動
ロギング機能	メモリに蓄積 ,SYSLOG での出力 ,外部メモリ(microSD)への出力(暗号あり),電源スイッチ切断時のログ保存(パワーオフログ保存機能), リブートログ保存機能	メモリに蓄積 ,SYSLOG での出力 ,外部メモリ(microSD)への出力(暗号あり),電源スイッチ切断時のログ保存(パワーオフログ保存機能), リブートログ保存機能
ログの内容	フィルタリングされたパケット ,料金情報(i) ,ISDN 呼制御(i) ,各種機能の動作状況など	フィルタリングされたパケット ,料金情報(i) ,ISDN 呼制御(i) ,各種機能の動作状況など
ログ記憶容量	最大 20,000 行	最大 20,000 行
設定手段	コンソール ,TELNET サーバー(多重) ,TELNET クライアント ,SSH サーバー(多重),SSH クライアント ,TFTP/SFTP/SCP によるダウンロード/アップロード ,ISDN 回線経由のリモートセットアップ(i) (※7) ,データコネクト経由のリモートセットアップ	コンソール ,TELNET サーバー(多重) ,TELNET クライアント ,SSH サーバー(多重),SSH クライアント ,TFTP/SFTP/SCP によるダウンロード/アップロード ,ISDN 回線経由のリモートセットアップ(i) (※7) ,データコネクト経由のリモートセットアップ
VPN 機能	IPsec(VPN 機能:NAT トラバーサル、XAUTH)+AES、3DES、DES(暗号機能:ハードウェア処理) IKE/IKEv2(メインモード、アグレッシブモード), L2TP/IPsec	IPsec(VPN 機能:NAT トラバーサル、XAUTH)+AES、3DES、DES(暗号機能:ハードウェア処理) IKE/IKEv2(メインモード、アグレッシブモード), L2TP/IPsec
VPN 対地数(IPsec)	3,000(最大設定可能数:3,000)	1,000(最大設定可能数:1,000)
QoS 機能(制御方式)	優先制御 ,帯域制御(Dynamic Traffic Control), 優先制御と帯域制御の同時使用 ,Dynamic Class Control ,帯域分割 ,CBQ(i) ,WFQ(i) ,VPN QoS(※8) ,帯域検出機能 ,負荷通知機能 ,階層型 QoS	優先制御 ,帯域制御(Dynamic Traffic Control), 優先制御と帯域制御の同時使用 ,Dynamic Class Control ,帯域分割 ,CBQ(i) ,WFQ(i) ,VPN QoS(※8) ,帯域検出機能 ,負荷通知機能 ,階層型 QoS
QoS 機能(分類方式)	IP アドレス ,プロトコル ,ポート番号 ,ToS フィールド	IP アドレス ,プロトコル ,ポート番号 ,ToS フィールド
QoS 機能(網側 QoS 機能との連携)	Diffserv ,ToS→CoS 変換	Diffserv ,ToS→CoS 変換
閉域網サービス用機能	タグ VLAN ,IPv6 マルチキャスト(MLDv1、MLDv2、MLD プロキシ)	タグ VLAN ,IPv6 マルチキャスト(MLDv1、MLDv2、MLD プロキシ)
タグ VLAN(IEEE 802.1Q)	LAN ごとに 32ID, PPPoE over タグ VLAN	LAN ごとに 32ID, PPPoE over タグ VLAN
セキュリティー機能	URL フィルタリング機能(外部データベース参照型・内部データベース参照型) ,DHCP 端末認証機能 ,Winny フィルター(Winny Version2 対応) ,Share フィルター(Share バージョン 1.0EX2 対応),MAC アドレスフィルタリング	URL フィルタリング機能(外部データベース参照型・内部データベース参照型) ,DHCP 端末認証機能 ,Winny フィルター(Winny Version2 対応) ,Share フィルター(Share バージョン 1.0EX2 対応),MAC アドレスフィルタリング
ファイアウォール機能(IPv4/IPv6 静的フィルタリング)	IP アドレス ,ポート ,プロトコル(Established、TCP フラグ有り) ,ソース/デスティネーション ,LAN 側/WAN 側の IN/OUT に適用	IP アドレス ,ポート ,プロトコル(Established、TCP フラグ有り) ,ソース/デスティネーション ,LAN 側/WAN 側の IN/OUT に適用
ファイアウォール機能(IPv4/IPv6 動的フィルタリング)	基本アプリケーション(TCP、UDP) ,応用アプリケーション(FTP、TFTP、DNS、WWW、SMTP、POP3、TELNET) ,自由定義 ,LAN 側/WAN 側の IN/OUT に適用	基本アプリケーション(TCP、UDP) ,応用アプリケーション(FTP、TFTP、DNS、WWW、SMTP、POP3、TELNET) ,自由定義 ,LAN 側/WAN 側の IN/OUT に適用
動的フィルター・セッション数	65,534	65,534
ファイアウォール機能(IDS:IPv4 不正アクセス検知)	LAN 側/WAN 側の IN/OUT に適用 ,IP ヘッダー ,IP オプションヘッダー ,ICMP・UDP・TCP・FTP などのカテゴリで 41 種の不正アクセスを検出可能 ,不正アクセス検知メール通知機能	LAN 側/WAN 側の IN/OUT に適用 ,IP ヘッダー ,IP オプションヘッダー ,ICMP・UDP・TCP・FTP などのカテゴリで 41 種の不正アクセスを検出可能 ,不正アクセス検知メール通知機能

アドレス変換機能（NAT ディスクリプター機能）	NAT ,IP マスカレード ,静的 NAT ,静的 IP マスカレード ,DMZ ホスト機能 ,PPTP パススルー(複数セッション) (※9) ,IPsec パススルー (1 セッション) ,FTP 対応 ,traceroute 対応 ,ping 対応 ,SIP‐NAT 対応 (※10) ,IP マスカレード変換セッション数制限機能	NAT ,IP マスカレード ,静的 NAT ,静的 IP マスカレード ,DMZ ホスト機能 ,PPTP パススルー (複数セッション) (※9) ,IPsec パススルー (1 セッション) ,FTP 対応 ,traceroute 対応 ,ping 対応 ,SIP‐NAT 対応 (※10) ,IP マスカレード変換セッション数制限機能
NAT セッション数	65,534	65,534
バックアップ機能	VRRP ,フローティングスタティック ,ネットワーク/PP/LAN/Tunnel 等バックアップ機能により VPN/イーサネット/ISDN (i) にバックアップ ,バックアップメール通知	VRRP ,フローティングスタティック ,ネットワーク/PP/LAN/Tunnel 等バックアップ機能により VPN/イーサネット/ISDN (i) にバックアップ ,バックアップメール通知
IP keepalive 対地数 (※11)	3,000	1,000
データ圧縮	IPComp ,CCP (Stac LZS) ,VJC	IPComp ,CCP (Stac LZS) ,VJC
ルーター機能	DHCP サーバー ,DHCP クライアント ,DHCP リレーエージェント ,DNS リカーシブサーバー ,DNS サーバー選択機能 ,CIDR ,PROXY ARP ,SNTP サーバー ,NTP クライアント ,LAN セカンダリアドレス設定 ,BOD (MP、BACP) (i) ,フィルター型ルーティング ,LOOPBACK/NULL インターフェース ,リモートアクセスサーバー (i) ,パケット転送フィルター ,マルチホーミング ,スケジューリング機能 ,コールバック(無課金独自方式、Windows 標準方式) (i) (※7) ,生存通知機能 ,ネットボランチ DNS サービス対応 (※12) ,Wake on LAN 対応	DHCP サーバー ,DHCP クライアント ,DHCP リレーエージェント ,DNS リカーシブサーバー ,DNS サーバー選択機能 ,CIDR ,PROXY ARP ,SNTP サーバー ,NTP クライアント ,LAN セカンダリアドレス設定 ,BOD (MP、BACP) (i) ,フィルター型ルーティング ,LOOPBACK/NULL インターフェース ,リモートアクセスサーバー (i) ,パケット転送フィルター ,マルチホーミング ,スケジューリング機能 ,コールバック(無課金独自方式、Windows 標準方式) (i) (※7) ,生存通知機能 ,ネットボランチ DNS サービス対応 (※12) ,Wake on LAN 対応
拡張機能	Lua スクリプト	Lua スクリプト

＜注＞

	2013 年 4 月現在の情報です。仕様および機能の名称は予告なく変更することがあります。
	文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。
(i)	ISDN 環境でお使いいただく場合にご利用いただけます。
※1	「国内ルーター市場 2011 年の分析と 2012 年～2016 年の予測」 (IDC #J12010103、2012 年 5 月発行) 内の「国内 SOHO ルーター市場 ベンダー別出荷台数／エンドユーザー売上額実績、2010 年～2011 年」を出典(参考)しています。
※2	2020～2025 年に日本国内の固定系電話回線網が PSTN(ISDN)から IP ネットワーク(NGN もしくはフレッツ光ネクスト)への移行(マイグレーション)が計画されております。PSTN/ISDN の音声通信はフレッツ光ネクスト回線の「ひかり電話」で代替し、ISDN のデータ通信はフレッツ光ネクスト回線の「ひかり電話ナンバーゲート」および「データコネクト」で代替されます。
※3	ADSL、CATV、FTTH (光ファイバー) 等の回線との接続には、別途 ADSL モデム、ケーブルモデムまたはメディアコンバーターが必要です。ATM 回線との接続には、ATM-TA が別途必要です。また、複数のパソコンでの使用を認めていないプロバイダもありますので、 契約内容をご確認ください。
※4	RTX5000 及び RTX3500 は、「YBC-4BRI-ST」1 台～2 台または「YBC-1PRI-M」1 台のいずれかを装着できます。
※5	RT-FileGuard は Config や SYSLOG などのファイルを PC 上で暗号化/複合化するためのユーティリティソフトです。
※6	スループット値は、SmartBits による測定値 (NAT なし、フィルターなし、双方向) です。
※7	対向側にヤマハルーターと ISDN 回線が必要です。
※8	IPsec トンネル内で QoS を適用する機能です。
※9	PPTP クライアントの場合、複数セッションに対応。PPTP サーバーは 1 セッションです。
※10	IP 電話サービスを併用することができます。配下にヤマハ VoIP ゲートウェイ NVR500・RT58i・RT57i・RTV700 (いずれか 1 台あるいはカスケード 1 構成のみ) を設置することができます。 なお、WAN 側に固定のグローバル IP アドレス (LAN 側にはプライベート IP アドレスを利用) が必要です。
※11	VPN やネットワークバックアップ機能などを併用せず、IP keepalive 機能を監視に利用する場合の対地数です。
※12	「10. ×. ×. ×」「172. 16. ×. ×～172. 31. ×. ×」「192. 168. ×. ×」のようなプライベートアドレスを使用している インターネット環境 (CATV 等) では、ネットボランチ DNS サービスは使用できません。

ヤマハ　ギガアクセス VPN ルーター『RTX5000』

希望小売価格＜税込＞837,900 円（本体価格 798,000 円）

※写真は BRI モジュール「YBC-4BRI-ST」(別売)を 2 台搭載しています。

ヤマハ　ギガアクセス VPN ルーター『RTX3500』

希望小売価格＜税込＞522,900 円（本体価格 498,000 円）

※写真は BRI モジュール「YBC-4BRI-ST」(別売)を 2 台搭載しています。

※「RTX5000」「RTX3500」の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

ヤマハ PRI モジュール『YBC-1PRI-M』

希望小売価格＜税込＞157,500 円
（本体価格 150,000 円）

ヤマハ BRI モジュール『YBC-4BRI-ST』

希望小売価格＜税込＞105,000 円
（本体価格 100,000 円）

※「YBC-1PRI-M」「YBC-4BRI-ST」の画像データは下記ウェブサイトよりダウンロードできます。
http://jp.yamaha.com/news_release/

この件に関するお問い合わせ先

ヤマハ株式会社

■報道関係の方のお問い合わせ先
広報部　宣伝・ウェブコミュニケーショングループ
窪井、千葉
〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11
TEL 03－5488－6605
FAX 03－5488－5063
ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/
（取材申し込みや広報資料請求が可能です。）

■一般の方のお問い合わせ先
ヤマハ株式会社　ヤマハルーターお客様ご相談センター
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1
TEL 03－5651－1330
FAX 053－460－3489
ホームページ URL
http://jp.yamaha.com/products/network
http://www.rtpro.yamaha.co.jp/